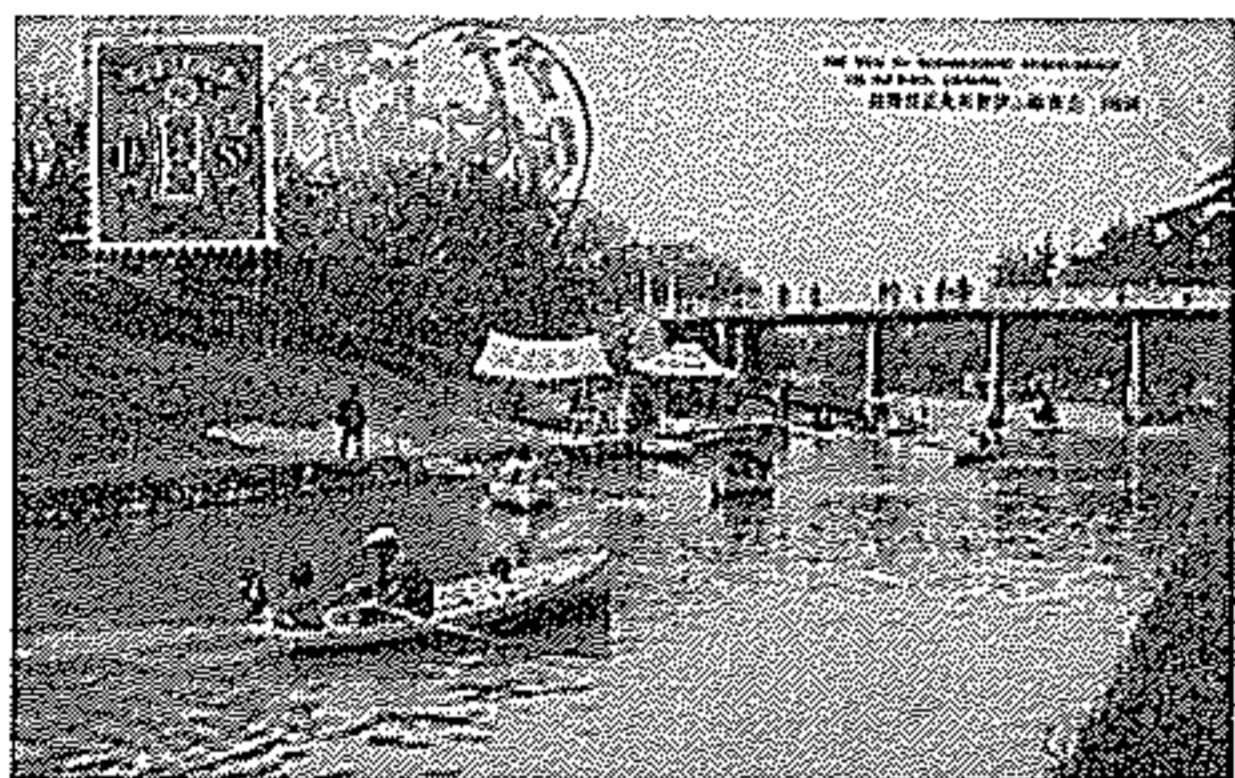


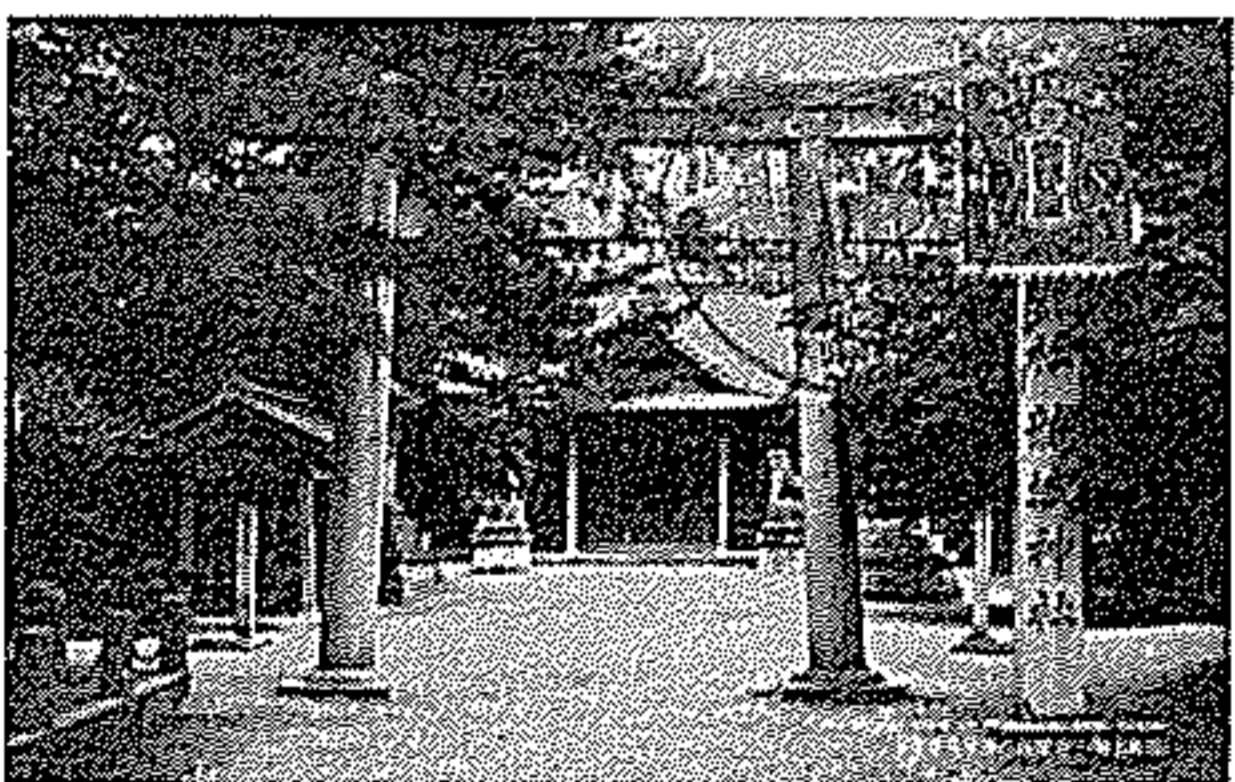
岡崎城跡の 図書館



図書館交流プラザ・りぶら立体模型



伊賀川の治水のため、明治45年(1912)に流路を岡崎城外堀に付け替える工事が行われました。ボートで遊ぶ人たちも安心して楽しんでいます。絵葉書の解説は「遊客賑ふ伊賀川大正橋附近」。竹千代橋は大正橋と呼ばれていました。



龍城神社は昭和35年(1960)に火災にあい、同37年に日光東照宮の杉を用材として再建されました。昭和7年の絵葉書の解説は「(岡崎名勝) 岡崎公園内の浄域龍城神社」。裏面には現在の社殿の写真がありますよ。

早耳情報

「本町晴明ストリート」 が誕生。今年は期待大

安倍晴明を祀る晴明神社を中心に活動してきた「本町通三丁目商店街(振)」は、4月から心機一転「本町晴明ストリート」と名称を変更し、今年はまだ続けてきたイベントをバージョンアップする予定。どんな企画が飛び出すか。しばらく注目してください。安倍晴明の三河の道場跡がこの晴明神社。下町ならではの人情味ある企画が期待できます。



■発行

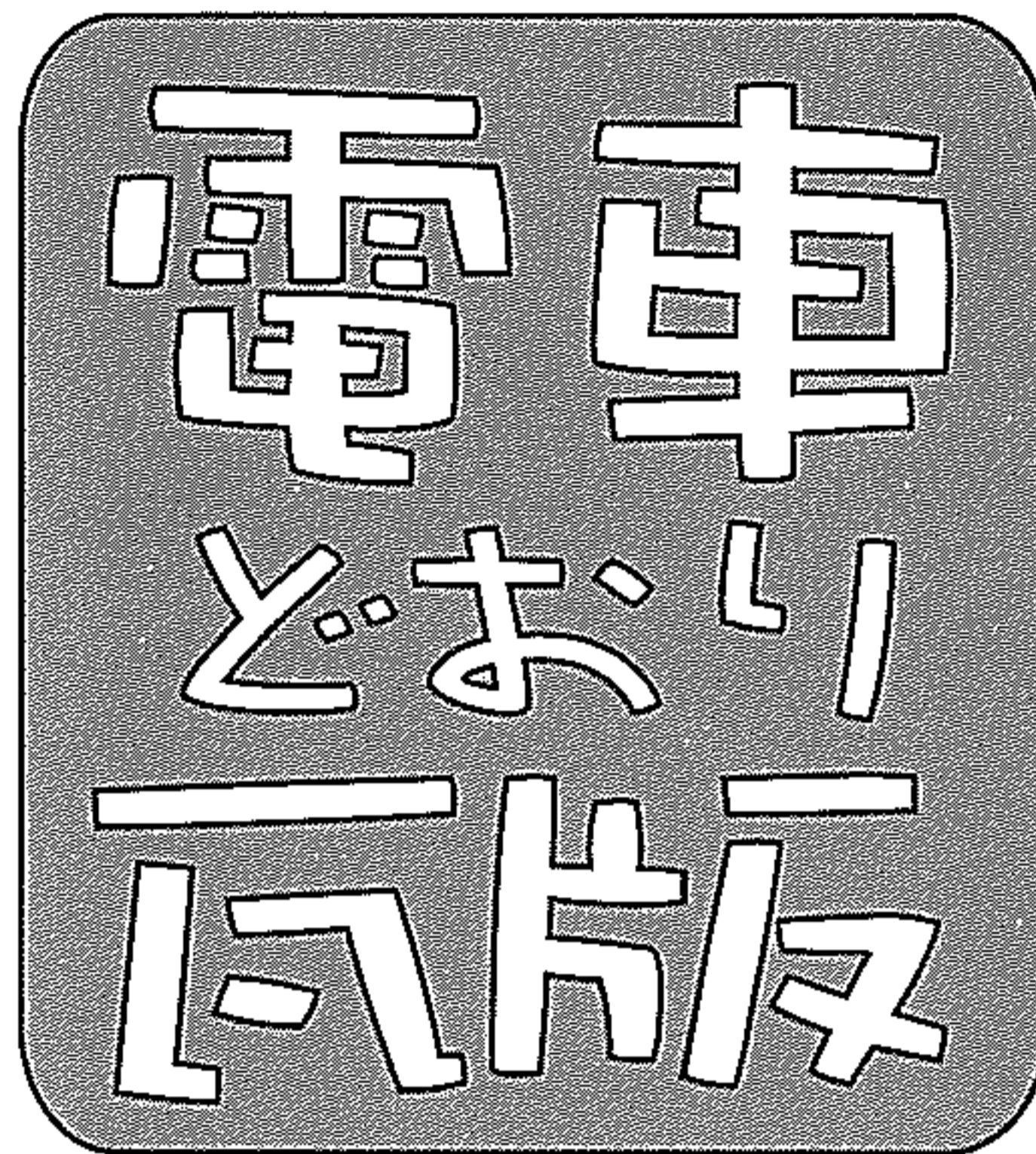
- 電車どおり5商店街
- 能見北発展会
- 本町晴明ストリート
- 岡崎銀座商店街振興組合
- 殿橋通発展会
- 岡崎明大寺商店街振興組合
- 街情報ステーション

■協力

- 岡崎商工会議所
- 岡崎市観光協会

■編集協力

- おかざき塾
- 三河・岡崎のタウン誌「リバーシブル」



2008年(平成20年)6月・7月(第14号)

電車どおりの住民がご近所のネットワークを活かしまち歩きを楽しむオススメポイントをご紹介します。

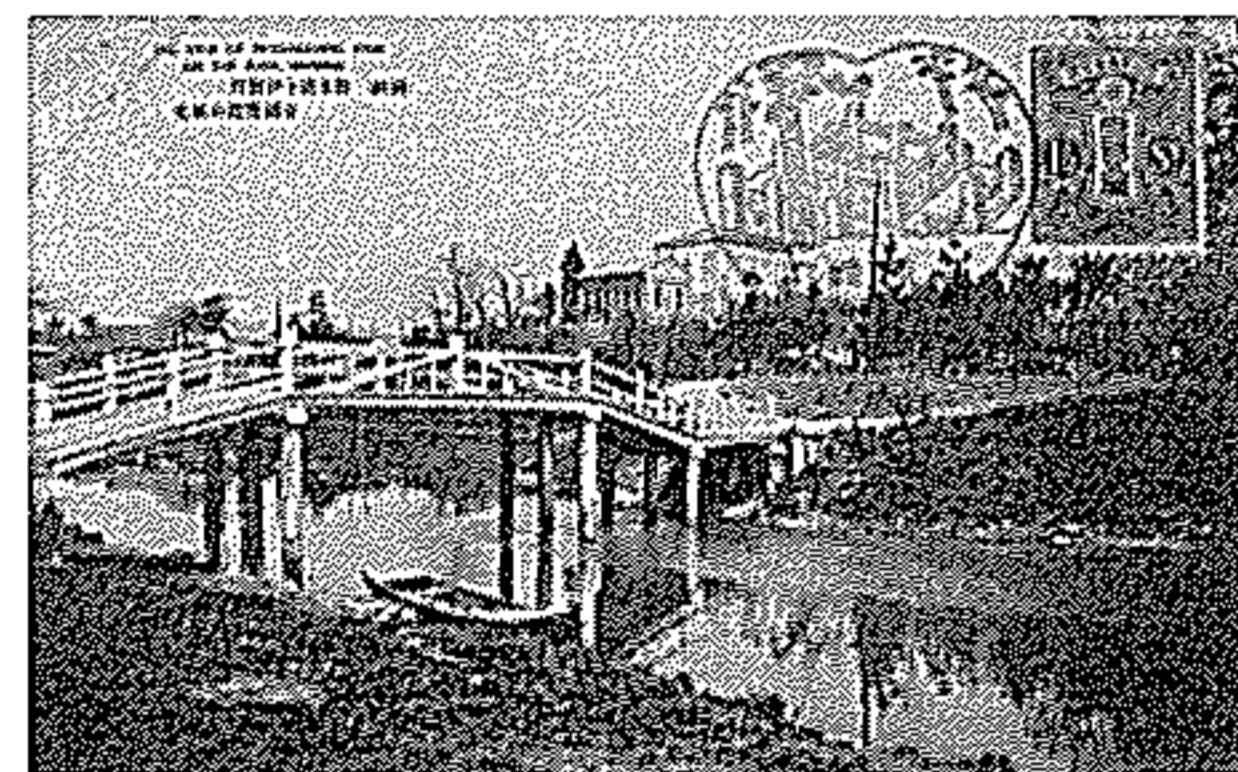
町歩きの
好きなんの
電車どおりに
5商店街おは
いらつしやい
お待ちしますよ。



絵葉書が 残してくれた



85年前に岡崎公園内に洋風レンガ造りで新築されました



絵葉書には記念のため1銭5厘の切手が貼られ、昭和7年10月1日の消印。解説は「岡崎公園内に巍然(ぎぜん)たる典型的建築物、市立図書館」とあります。巍然とは抜きんでて偉大という意味。当時の人々の図書館への思いが偲べれます。この図書館が建設されたのは大正12年(1923)のこと、場所は二の丸跡にある家康館のあたり。国1を挟んだ目と鼻の先に、今年11月1日に「図書館交流プラザ・りぶら」がオープンするが、こちらは岡崎城北曲輪跡。63年ぶりに市立図書館が岡崎城内に帰ってきたわけです。当時の年間利用者数は62,780名に上り、これは名古屋市立図書館、名古屋公衆図書館に次いで県下第3位。岡崎人の本好きは昔からのよう。下の絵葉書は坂谷橋のあたりから図書館のある方角を眺めたものです。